

こくぶんじ しろばら



第84号・令和5年2月発行
国分寺市明るい選挙推進協議会
国分寺市選挙管理委員会
〒185-8501国分寺市戸倉一丁目6番地1
TEL:042-325-0111 内線:367・368
https://www.city.kokubunji.tokyo.jp

国分寺市選挙人名簿登録者数
男 52,353人
女 55,044人
計 107,397人
〔令和4年12月1日現在〕

令和4年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール入賞作品

中央審査会会長賞*
東京都入選
国分寺市入選

第三中学校1年 宮地ゆら

東京都優秀賞
国分寺市最優秀賞

第七小学校6年 猪瀬映奈

国分寺市最優秀賞

第四中学校2年 平島 有

国分寺市優秀賞

第三中学校1年 野中彩花

国分寺市最優秀賞

第二小学校3年 辻江こはる

国分寺市優秀賞

第一小学校5年 嶋田一哉

*中央審査会会長賞
「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」

令和4年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール国分寺市入選作品

※順不同・複数誌

小学生の部

第一小学校5年 伊藤崇志

第一小学校5年 佐野若菜

第二小学校5年 横田 想

第三小学校6年 小間 椿

第八小学校6年 牛津 夏帆

中学生の部

第三中学校1年 田村 碧琉

第八小学校6年 神村 悠

第八小学校6年 山崎 蓮

第三中学校1年 阿部千絵

第三中学校1年 梅野瑞希

第三中学校1年 堀内祐花

第三中学校1年 緑川 琉奈

第四中学校2年 中村 一喜

第四中学校2年 松原志歩

早稲田実業学校高等部 1年 小田 満喜

第四中学校2年 須藤 優人

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、明るい選挙啓発ポスターコンクールに多数応募いただきありがとうございます。
今年は市議会議員選挙が予定されています。大切な一票を無駄にしないよう期日前投票も利用して投票所に足を運んでいただきたいと思います。
子どもたちがポスターに込めた思いを届けられるよう明るい選挙推進の啓発活動に努めて参ります。よろしくお願いたします。

国分寺市の応募数と審査結果

総数 653点(小学生 308点・中学生 344点・高校生1点)

中央審査会	会長賞	中学生1点
東京都	優秀賞	小学生1点
	入選	中学生1点
	感謝状	市立第二小学校・市立第五中学校 早稲田実業学校高等部
国分寺市	最優秀賞	小学生2点 中学生1点
	優秀賞	小学生1点 中学生1点
	入選	小学生7点 中学生9点 高校生1点

「多様性を認め合える社会を目指して」

東京学芸大学名誉教授
福富 護

総務省によると、2022年の参院選の投票率は52.05%で、前回(2019年)の48.80%から前々回(2016年)の54.70%以上の50%台を回復したとされるが、国政選挙の投票率が50%前後とは、何と低い水準と言わざるをえない。国際的にも、OECD諸国の中でかなり低い水準に留まってきた。

ここで投票率の低低だけを問題にする意図はない。選挙そのものあり様が問われるなければならない。「明るい選挙」が強調される所以である。買収や供託に陥せず、義理や人情に縛られず、自分の考えに従って判断し投票する選挙と言えよう。こうした「明るい選挙」の実践を通じてこそ、選挙が民主主義の支えとなりうる。

ところで、「自分の考えで投票すること」は、簡単なようで難しい。特に日本人は周囲に向けて自己主張することが苦手だ。周囲に合わせて行動し、周囲から目立つことを疎んじる。同じような枠組みの中で同じように振る舞って、いけばお互いに分かり合えて、安心できるという気持ちがある。周囲に同調することを是とする日本人は、自分の考えを推し進めることはあっても、それを外に主張しようとはしない。その結果、「自分の考えで投票すること」も簡単にできなくなる。

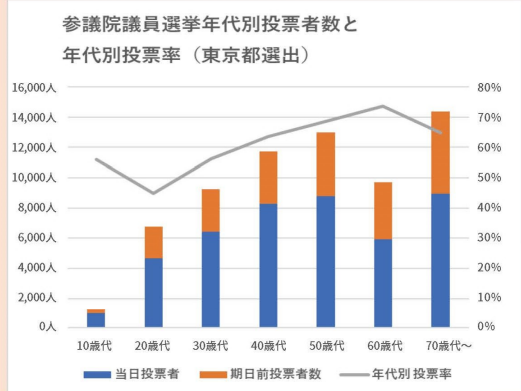
こうした流れを打ち破るには、各自がそれぞれの考えや個性を表現し、それらをお互いに尊重し合える社会を実現させることだ。同じであることだけが平等ではない。多様性をお互いに認め合うことが肝要で、そうした意識を義務教育の早い段階から醸成していくことが大切であろう。その中でこそ政治や社会の問題を自分の問題として捉え、判断し、主体的に行動できる国民が育つのではなかろうか。



めいすいくんと振り返る!! 令和4年7月10日執行 参議院議員選挙

参議院議員選挙(東京都選出) 26市				
開票区名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	
1 武蔵野市	124,728	77,497	62.13	
2 国分寺市	106,683	66,041	61.90	
3 三鷹市	158,804	96,141	60.54	
4 国立市	64,437	39,000	60.52	
5 小金井市	103,820	62,718	60.41	
6 稲城市	75,916	44,689	58.87	
7 西東京市	171,239	99,983	58.39	
8 小平市	160,774	93,769	58.32	
9 狛江市	70,205	40,820	58.14	
10 府中市	215,625	124,908	57.93	

参議院議員選挙(東京都選出) 23区と26市				
開票区名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	
1 文京区	184,796	120,304	65.10	
2 武蔵野市	124,728	77,497	62.13	
3 国分寺市	106,683	66,041	61.90	
4 三鷹市	158,804	96,141	60.54	
5 国立市	64,437	39,000	60.52	
6 千代田区	54,360	32,889	60.50	
7 小金井市	103,820	62,718	60.41	
8 世田谷区	770,523	463,163	60.11	
9 中央区	138,866	82,059	59.09	
10 北区	288,558	170,421	59.06	



国分寺市の投票率は61.90%。多摩26市のうち2位になりました。

20歳代の投票率が低いね…。不在者投票も活用してほしいな。

明るい選挙のイメージキャラクター ご当地「国分寺めいすいくん」

令和4年度 活動記録

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点に留意しながら、新しい生活様式を意識し、段階的に活動を開始します。

活動日	イベント・活動	
5月20日(金)~22日(日)	本多公民館新緑まつり 令和3年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール入賞作品展示	
6/下旬~7/月上旬	参議院議員選挙における啓発活動	中止
9/15(木)	明るい選挙啓発ポスターコンクール	
11/6(日)	国分寺まつり 模擬選挙	中止
12/7(水)	話しあい活動	
12/17(土)	明るい選挙啓発講演会	中止
1/9(月・祝)	成人式「二十彩の集い」における啓発活動	中止
2/15(水)	啓発広報誌「こくぶんじしろばら第84号」発行	

はやく全てのイベント・活動が再開できるといいね。

明るい選挙のイメージキャラクター

話しあい活動

テーマ：みんなが投票に行くにはどうしたらいいか考えてみよう。

開催日 令和4年12月7日 会場 国分寺市立本多公民館

今回は、東京学芸大学生涯学習教室の学生及び公募で集まった方々とともに、さまざまな年代の立場から投票に行けない、行かない理由を考察し、どうすれば投票に行けるのか具体的なアイデアを各グループに分かれて話しあいました。



はじめに学生から投票率が高い国々における選挙制度の工夫などについて説明があった後、選挙管理委員会事務局より市における投票率向上や選挙の周知に関する取組などについて報告しました。

その後のグループワークでは非常に活発な議論がなされ、斬新なアイデアが数多く出ました。今回の話しあい活動を通して、改めて一票を投じることの重みや大切さについて考える良い契機となりました。



18歳から20歳代の投票立会人登録者を募集!

立会日：各選挙の投票日
 立会時間：午前7時から午後8時まで
 立会場所：市内各投票所(18か所)
 立会報酬：16,500円
 応募資格：選挙権を有する18歳から29歳までの方、選挙の投票日の翌日までに18歳の誕生日を迎える方
 応募方法：「投票立会人登録申請書」を選挙管理委員会に提出(HPからダウンロード可)
 登録：登録要件を確認後30歳まで

投票者が入場してから、投票用紙を間違いなく投票箱に投入し退場するまでを立ち会い、選挙が公正に行われているか確認します。

選挙に関する知識は必要なく、経験も問いません。

応募状況によりご希望に添えない場合は、ご了承ください。

詳しくは選挙管理委員会ホームページのトピックスを見てね!
 令和5年4月に市議会議員選挙が予定されています。

明るい選挙のイメージキャラクター

初めての選挙、初めての投票立会人

「チャレンジ精神」 E・Sさん(19歳)

当時、高校3年生だった私は受験を控えており決して余裕があるわけではなかったが、母の勧めで選挙の投票立会人に挑戦してみることにした。ちょうど高校の期末試験真っ只中だったことを今でも覚えている。それまで投票立会人がどのような仕事を理解する機会はなく、どのようなことをするのは知らなかった。しかし、実際にやってみると早朝から市役所の方々が、投票の権利を持っている市民の人たちがスムーズに投票に参加できるように準備したり、投票が終わったと思えばすぐに開票所に届けに行き、開票所では大勢の人が開票結果を知らせるために俊敏に動いていた。選挙権を得るまでは、なんとなく見ていたテレビでの速報は、投票所に対応している人や開票所で開票をする人がいるからこそ成り立っているのだと感じた。

日本では若者の投票率が低いことが問題になっているが、「選挙」という出来事の裏側には多くの関係者の方々がいるからこそ、私たちの選挙権が守られているということを多くの人に伝えたい。これから「私一人が投票しても何も変わらない」ではなく「挑戦してみよう」と思う人が増えることを切に願っている。

ホームページ

国分寺市選挙管理委員会

国分寺市選挙管理委員会 ツイッター @koku_senkyo

Twitter icon and QR code